授業科目名・形態	早期体験実習　　　　　　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	小畑　千春　　他	実務経験の有無	有	開講期	1年前期

【授業の主題】

入学した早い時期に医療や看護を受けている対象者を取り巻く環境を知る。また、実際の看護場面や看護職者の業務・役割を学ぶことによって看護の重要性を認識し、看護学生としての自覚を促す。

【到達目標】

1. 病院の概要、看護部の組織、看護体制、看護理念が理解できる。
2. 看護の対象者が過ごしている療養環境を理解できる。
3. 看護職者の業務や役割が理解できる。
4. 看護職者の患者との関わりについて理解できる。
5. 看護職者と他の医療職者との連携について理解できる。
6. 医療を取り巻く地域の現状を理解できる。
7. 看護学生として責任ある行動をとることができる。

【授業計画・内容】

実習の詳細は早期体験実習要項に基づく。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰで学んだことを十分に復習して、実際の臨床現場での早期体験実習に臨んでください。

【主な関連する科目】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰで使用した教科書・資料

【参考文献】

必要時配布

【成績評価方法】

実習状況・実習記録等（90%）、終了後の課題（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療法人の病院で看護職として新人教育やスタッフの目標管理を経験。
実務経験から看護の魅力や、医療を取り巻く現状及び看護職のおかれている状況等を伝えたいと思います。

【学生へのメッセージ】

医療・看護を必要とする対象者の健康状態を知り、どのような環境で療養生活を送っているのか、その現状を学んでください。この実習で学んだことは、その後の学内での講義や演習に対する皆さんの姿勢に大きな影響をもたらすことと思います。